

## 自動車専用道路アイランドシティ線環境影響評価に係る環境モニタリング有識者委員会

## 【環境モニタリング調査報告書(案)に関する質疑及び意見に対する事務局の回答】

番号	説明会時の質問及び意見	回 答	
1	令和2年度調査結果 (参考:再生アスファルト混合物の使用量とアスファルト塊の再資源化量の集計結果について)	【資料1】p.17で再生アスファルト混合物の使用量とアスファルト塊の再資源化量の割合を示しているが、工事の種類と規模は年度毎に異なるため、年度毎の割合に意味はない。工事期間を通じた割合のみを示すべき。	報告書には記載しておらず参考値という扱いではあるが、今後データを関係者と共有していく上では、全体の割合のみを取り扱うこととする。
2	令和2年度調査結果 (水質)	水の濁りについては、下部工の影響を最も危惧すべきである。特に、下部工完了時の汚濁防止膜・矢板などの撤去のタイミングで濁りが発生しやすいと考えられるため、【資料1】p.20からのグラフ中に「下部工完了時」の目印を示して頂きたい。	報告書のグラフ中に下部工完了の時期を明記し、下部工完了前後が比較できるようにする。
3	令和2年度調査結果 (水質)	水質調査のモニタリング調査終了の判断基準として、水産用水基準(人為的に加えられる懸濁物質(SS)が2mg/L以下)があるが、結論としてこれに触れられていない。調査の終了にあたっては、判断基準を満足していることを示す必要がある。	調査データからは、バックグラウンドのSS濃度と、工事による寄与SS濃度を分けて考えることが難しいところもあるが、事務局で考え方を整理した上で、記載内容を検討する。
4	令和4年度調査計画 (騒音)	自動車の走行にかかる騒音に関する調査のなかで、「道路断面」とあるが具体的にはどのような調査をするのか。	道路断面(形状と寸法)は道路交通騒音の予測に重要な要素である。アセス時の道路断面は予備設計のもので詳細は未定であったので、施工後の道路断面を予備設計のものと比較して、著しい環境影響が生じるような変更がないかを把握する必要がある。そのため、施工図の道路断面図を確認するとともに現地踏査を行う。その結果を踏まえて、実際の道路断面に基づいた道路交通騒音の予測計算を行い、IC線から騒音の寄与を把握し、騒音対策の必要性について検討する。
5	令和4年度調査計画 (人と自然との触れあい活動の場)	香椎浜北公園への植栽は、日影を考慮した計画が必要だと思う。人と自然との触れ合い活動の場の調査にあたっては、陽当たりが良いとか風通しが良いなど、快適性が確保がされているかの確認が重要ではないかと考える。	公園内の東側のモニュメント周辺には日照を考慮して地被類のヘデラヘリックス、西側入口にはクロマツとハイバクシンを新植している。また、市道(歩道)から広場へ、広場から護岸沿いの遊歩道への動線も意識した作りとしている。アセス時の留意すべき点としては、騒音、日影、圧迫感などが挙げられているが、ご指摘頂いた点も含めて利用者の快適性が確保されているかを調査により把握する。
6	香椎浜北公園の整備状況	香椎浜北公園について、一部護岸に沿って石が積んでいる部分があるが、これは何なのか、工事で発生した石を再利用したものか。	工事前からもともと設置されているものであり、工事で発生したものは利用してはいない。(ご指摘の護岸については、生物保全を目的として設置された自然石緩傾斜護岸であり、平成15年度に設置されている)
7	香椎浜北公園の整備状況	橋桁や橋脚にドバトが留まった時や巣を作るような鳥がいた場合、遊具の上にフンなどを落とされる可能性があるが、何か対策は講じているか。	橋桁と橋脚の隙間の部分にはワイヤーを張って、鳥除けを設置しており、鳥が巣を作らないようにしている。橋桁の構造についても鳥類がそこに留まらないような形状となっている。
8	香椎浜北公園の整備状況	芝生など植栽をしているが、今後の管理やメンテナンスはどのように考えているか。	東区の維持管理課が主管となり、公園の清掃や除草を含めて維持管理していくこととしている。